

みやま

第108号

令和3年5月31日

発行所 神奈川県三浦市

初声町下宮田1846

社会福祉法人 阿部聴会

美山ホーム

TEL 046-888-3048

E-mail miyama2@h2.dion.ne.jp

URL <https://miyamaho-mu.jp/>

発行人 濱岡 武



就任にあたって



美山特養ホーム・美山ホーム

施設長 濱岡 武

本年4月1日に美山ホームの施設長に着任しました濱岡と申します。前職は社会福祉法人阿部聴会が横須賀市衣笠で運営している養護老人ホーム共楽荘の施設長を担当していました。どうぞよろしくお願いたします。

私が初めて美山ホームを訪れたのは今から30年前、新任職員研修の時でした。当時の施設長から福祉職員としての基本的姿勢や高齢者施策の最新状況などを学び、休憩時間には当時の養護老人ホームの明るい食堂で大変美味しい昼食をいただいたのを覚えています。

昭和61年に竣工した養護棟と特養B棟も35年が経過し、将来を見据えた再整備も検討しなければならぬ時期にきています。入居者様が明るい気持ちで日々お過ごしいただける居住環境づくりを職員と協力しながら進めてまいります。

コロナ禍に当たり感染予防対策として面会や外出の制限をさせていただいており、ご家族の皆様には大変申し訳なく思っております。対策の効果もあり施設においては一人の陽性者を出すことなく推移しており、特養の入居者様と職員については1回目のワクチン接種を5月8日に実施することが出来ました。どうぞご安心ください。

結びになりますが、美山ホームが地域の皆様これまで以上の信頼を寄せていただけたら、監督官庁の指導を受けながら適正に運営して参りますのでどうぞよろしくお願いたします。



特養A棟
出口 久子 (91歳)

皆様こんにちは。

令和3年3月17日より特養A棟2階なのはなユニットに入居した出口久子と申します。

生まれは三浦市の原町です。シヨートステイで美山ホームに来させてもらって、「こんなに食事が美味しくて、よい所があるんだなあ」と感心してびっくりしたのを覚えています。主人も以前にお世話になりました。これから職員さんや他の方にご迷惑をおかけしないようなんとか元気に過ごしたいと思えます。皆様どうぞよろしくお願い致します。



特養A棟
菱沼 教尚 (88歳)

みなさまこんにちは。

特養A棟さくらユニットに入居しました菱沼教尚(ひしぬまのりたか)と申します。

私は、昭和8年、三浦市で7人兄弟の次男として生まれました。中学校卒



特養A棟
三上キミ子 (92歳)

皆さまこんにちは。

この度、特養A棟さくらユニットにてお世話になります三上キミ子と申します。私は、昭和3年三浦市初声町三戸で、8人兄弟の次女として生まれ、両親の職業である農業の手伝いをしておりました。また、手作業が好きで、洋裁、針子も嗜んでいました。今も、ビニールテープでカゴ作りをしたりもしています。もしご希望があれば御作りいたします。

美山ホームでは皆さんいい人で、とつても安心していきます。今後ご迷惑をおかけするかもしれませんが、何卒よろしくお願いいたします。



特養B棟
齋藤 ふみ (76歳)

皆さん、こんにちは。私は茨城県久



特養B棟
川島 富子 (89歳)

はじめまして。1階でお世話になっている

川島富子と申します。私は福岡県八女郡の生まれで高校卒業まで暮らしていました。その後は、上京し看護師として働いていました。趣味はカラオケで以前いた施設ではよく歌っていたので、たくさん歌う機会を作って欲しいです。皆さんこれからも宜しくお願いします。



管理課
藤田 好也

はじめまして。

令和3年4月に同じ阿部睦会の共業

荘より管理課に着任いたしました藤田好也(ふじたよしなり)と申します。出身は大府豊中市で伊丹空港のすぐ近くで育ちました。逗子に住んで30年以上になるのですが、妻が同じ関西出身ということもあり、いつまでたつても関西弁が抜けません。ここ数年は、鎌倉を中心とした寺社巡りと貸農園での野菜作りで休日をお過ごしすることが多くなりました。事務方として皆様のお役に立てるよう一生懸命がんばりますのでどうぞよろしくお願い致します。

美山特養ホーム

月	介護度			計
	5月	4月	3月	
0	0	0	0	1
0	1	0	0	2
2	1	1	1	3
2	2	2	1	4
0	0	0	1	5
4	4	3	3	計
0	0	0	0	1
0	0	0	0	2
1	0	0	0	3
1	1	1	2	4
0	1	0	0	5
2	2	2	2	計

コロナ禍、施設の感染症防止への対応として、未だ、通常のご面会に関してはご遠慮を頂いている状態ではありますが、本年度は、カンファレンスなど、入居者様にとって大事な節目には、ご家族にもご来園を頂いておりますので、その際に短時間ではありますが、交流の機会を提供しております。例年であれば、暖かくなっていくこの時期には、お花見のドライブや外食な

どを企画してりましたが、今年も見送らねばならず、それを花が憐れんか、一昨年あたりから勢いの衰えていた藤棚の花が、昨年の何倍も咲き誇り、入居者様、職員の日を楽しませてくれました。

当施設では官公庁と連携しながら様々な施策を取っておりますがこうした取組みが、少しでも入居者様、そのご親族、関係者様の日常を取り戻すきっかけになればと担当職員一同、切に願っております。

(藤本)

美山居宅支援センター

令和2年12月～令和3年2月迄のケアプラン作成数を報告します。

3月	57件
4月	53件
5月	53件

居宅介護支援に於ける

「令和3年度介護保険制度改正について」

- (1)基本報酬の改正
- (2)新型コロナウイルス感染症に対するための特例的な評価
- (3)認知症に係る取組の情報公表の推進
- (4)看取り期における本人の意思に沿ったケアの充実
- (5)退院・退所時のカンファレンスにおける福祉用具専門相談員等の参

画促進

- (6)質の高いケアマネジメントの推進
- (7)減減性の見直し
- (8)医療機関との情報連携の強化
- (9)看取り期におけるサービス利用前の相談・調整等に係る評価
- (10)介護予防支援の充実
- (11)特例居宅介護サービス費による地域の実情に応じたサービス提供の確保「三浦市対象外」
- (12)生活援助の訪問回数が多い利用者のケアプランの検証
- (13)サービス付き高齢者向け住宅等における適正なサービス提供の確保
- (14)居宅介護支援における(看護)小規模多機能型居宅介護事業所連携加算の廃止。

居宅支援サービス提供に於いては、第8期三浦市高齢者保健福祉計画にある地域事業の推進も視野に入れ、法改正後の各事業サービスと情報連携を行い、当センターの持ち味を生かしたケアマネジメントを展開していけたら…、と考えております。新年度も宜しくお願い申し上げます。

(松崎)



美山通所介護サービスセンター

活動状況報告

5月	4月	3月	月
219人	227人	256人	延利用人数
21日	22日	23日	延日数
10.5人	10.4人	9.9人	1日平均人数
7人	5人	4人	事業対象者
5人	5人	4人	要支援1
40人	42人	44人	要支援2
81人	83人	82人	要介護1
63人	68人	68人	要介護2
15人	17人	16人	要介護3
8人	7人	8人	要介護4
0人	0人	0人	要介護5

3月から5月までの主な活動状況を報告させていただきます。

- 3月 手工芸(ひな人形製作) 手作りおやつ (フレンチトースト)
- 4月 手工芸(鯉のぼり製作) 中庭お花見散策 誕生日会(2名)
- 5月 園芸レク(苗植え・種まき) 手作りおやつ (フルーツパフェ) 誕生日会(2名)

美山ホームの中庭には2種の藤棚があり、例年5月ごろに咲くのですが、今年は早く4月中旬ごろに見ごろを迎えました。デイサービスに通われているご利用者様も、歩行訓練を兼ねて中庭のお花見散策を実施し、大変喜ばれていました。

コロナ禍のなか、ご家族との外出

を控え、ご近所や親類との交流の機会が減っているご利用者様もいます。美山通所介護サービスセンターでは、感染予防対策を実施しながら、運動会場の確保、社会交流や社会参加の場の提供などを通じて、心身機能の低下を予防するとともに、ご利用者様に有意義な時間を過ごしていただけるプログラムを実施しています。

(佐藤)

美山短期入所サービスセンター

5月	4月	3月	月
16人	19人	13人	利用者(実人数)
282日	254日	185日	延日数
64.90%	60.50%	42.6%	利用率
0人	0人	0人	介護度別利用者内訳
2人	1人	1人	要支援1
2人	4人	1人	介護度1
6人	8人	6人	介護度2
4人	4人	3人	介護度3
2人	2人	2人	介護度4
			介護度5

コロナ禍、未だ県内の陽性者数も一進一退を繰り返す中、ご利用を頂いておりますお客様に大きく体調を崩された方もなく過ごされていらっしゃることに、担当職員一同、嬉しく思います。また、ご家族、身元引受人様には、日頃、施設の感染症対応にご理解、ご協力を頂いておりますこと、感謝申し上げます。

3月から5月は、肌寒い日もございましたが、徐々に気温も上がり、また、

3月の下旬には桜、4月の下旬には藤、今年は昨年と比較して鮮やかに咲いた印象を受けます。お散歩をするにもちようど良く、外気浴にお誘いすることも多くなりました。また、特養の行事に合わせ、季節のレクリエーション、お食事を楽しんで頂いております。

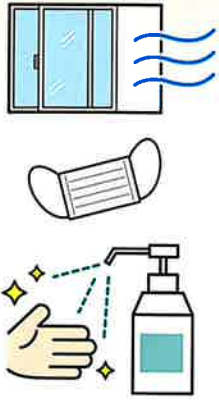
(藤本)

コロナの現況と対策

4月25日に東京・京都・大阪・兵庫を対象に出された緊急事態宣言は、5月末まで延長されることになりました。

美山ホームでは三浦市をはじめとして、官公庁及び地方医師会とも協力し感染防止に努めています。世界では感染力の強い変異種が出現し、国内でも広がりを見せるなどまだまだ予断を許さない状況です。コロナの流行が収束するまでまだ少し時間がかかりそうですが、日常の手洗い・うがいを励行し、施設外部の方々との接触機会を減らすなど、できうるだけの対策をとりながら皆で力をあわせて乗り切りましょう。

(藤田)



実施行事

- 3日 ひな祭り
- 3日 防災訓練
- 23日 仏供養会
- 31日 みんなの集い(文書回覧)
- 4日 花まつり
- 5日 端午の節句



行事予定

- 6日 開園記念日
- 7日 七夕
- 28日 土用の丑の日
- 28日 夏祭り
- 8月 終戦記念日
- 21日 中華バイキング



俳句コーナー



陽だまりに 寄り添う猫
R i (84才)
コロナ知れず

外出と 心躍るも
A i (74才)
車窓かな

中庭へ 健康維持と
A i (85才)
七回り

ペン先で コロナ吹かそう
K N (78才)
句仲間よ

モバイルサイトにアクセス!



施設長退任にあたって

感謝

昭和39年米軍の奉仕により小高い山を崩し共楽荘の初声分園として誕生したのが美山ホームの始まりです。私も主人(輝雄)と2歳8ヶ月の娘と3人で現在の地に移ってきました。周辺は田んぼで道もない状態でしたので分園の建築に当たっては地域の方々は大変お世話になったことを思い出します。

当時は32名のお年寄りとの生活で職員も義妹が調理を担当、看護婦、寮母と3人で、のどかで家庭的な生活が始まり、その時から私も手伝いするようになりました。

昭和45年になり養護老人ホームが設立された時、前駒子会長が共楽荘から分園にくる車の中で周囲にはきれいな山が多い事に気づき、新しくできる施設を美山ホームと名付けたのでした。又昭和61年、分園の跡に三浦市で初めての特別養護老人ホームが新設され、養護・特養併設の施設として職員も増員され大家族に生まれ変わりました。前々施設長(阿部好知)と共にひとつづつ事業を積み重ねながらいかに多くの御利用者様や職員の皆様とふれあい出会ったことでしょう。時代は昭和から平成へと移り平成17年にはユニット型も併設(デイサービス、居宅事業と時代のニーズに合わせ研鑽し、地域に根ざし皆様に喜ばれる施設であるよう努めて参りましたが、光陰矢の如し、私にとつても美山ホームは半世紀以上にわたり携わってきた思い入れの深い職場でした。

一つの仕事を長く続けられるという事は第一に健康、第二に自分の信念、第三に家族や周囲の方々の協力、そして第四には恐らく誇りの持てる職場であることが大切であると思えます。今、ここに全てのごことに感謝して自分の健康に気を配りつつ立場を変えながらもお役に立ち続けて参りたいと存じますので今後ともよろしくお願いたします。

(前施設長 阿部ミサ子)

編集後記

昨年に引き続き今年も3月中旬には桜は満開となりましたが、生憎のコロナ禍でゆつたり花見とは参りませぬでした。また施設の行事も控え目となり少々残念に思えるこの頃ですが、いつか晴れ渡る空の下、皆で笑い合える日々が戻って来ることを信じて、共に明るく過ごして参りましょう。